

執筆要項

- 1 原稿は、原則として汎用のソフトウェア（MS-Word、等）を使用し、使用ソフトウェアの名前とバージョンを必ず記載する。
- 2 原稿はすべて A4 判横書きで、1 行の文字数を 35 文字、1 ページの行数を 28 行(約 1,000 文字)とし、適切な行間をあける。文字の大きさは 12 ポイント程度とする。
- 3 本文と文献リストに、通し番号を第 1 ページから原稿下中央に付記する。
- 4 原稿の文字数は、原則として投稿規程のとおりとする。これを超えるものについては受領しない。
- 5 図、表などの画像データは PDF に変換して添付する。
- 6 原稿は、以下の区分ごとに、新しいページで書きはじめ（「図の説明文」まで）。
 - (1) タイトル（和文および英文）
 - (2) 要旨、キーワード（和文および英文）
 - (3) 本文
 - (4) 文献リスト
 - (5) 図・表（グラフ、写真を含む）
 - (6) 図の説明文（必要時）
- 7 原稿の各部分は、以下の諸点に留意して作成する。
 - (1) タイトル（和文および英文）
 - (2) 要旨、キーワード（和文および英文）
 - ①和文要旨、キーワード
総説、原著、症例報告、資料・その他は 600 字以内、短報は 300 字以内で和文要旨を、論文の概要が具体的にわかるように目的・対象と方法・結果・結論などに分けて記載する。和文要旨の下に、キーワードを 5 個以内で重要な順に列記する。
 - ②英文要旨、キーワード
総説、原著 症例報告、資料・その他は 250words 以内、短報は 150words 以内で英文要旨を、論文の概要が具体的にわかるように目的・対象と方法・結果・結論などに分けて記載する。英文要旨の下に、キーワードを 5 個以内で重要な順に列記する。
英文のキーワードは正確かつ具体的なものとし、略

語や頭字語の使用はできるだけ避ける。必要な場合には初出時にフルスペルで記載し、以降の使用方法を明記する。

(3) 本文

- ① 原則として、以下の項目順に記述する。
 - ・原著の場合：I. 緒言, II. 方法, III. 結果, IV 考察
 - ・短報の場合：上記項目を参考にしつつ、内容に応じ記述する。
- ② 各項目内での細区分には、1. 1) を用いる。
- ③ 略語は初出時にフルスペルにしてことわる。
- ④ 略語の使用は最小限にし、乱用は出来るだけ避ける。
- ⑤ 図と表の番号は、「図 1, 図 2, 表 1, 表 2, ……」と表記する。
- ⑥ 文献の引用は、該当箇所の右肩に、「文献リスト」の番号を片括弧でくくって示す。
(例) ……の報告¹⁾では

(4) 文献リスト

- ① 本文中に引用した文献のみを、引用順に、番号とともに記載する。番号は片括弧で記載する。
- ② 著者名は全員を記載する。ただし、著者数が 4 名以上の場合には、筆頭から 3 名までを列記し、それ以降は「, 他」, 「, et al」とする。
- ③ 外国人著者名のファーストネーム（ミドルネーム）の表記法、ピリオド、コンマ、コロンなどの使い方は通例に従って記載する。
- ④ 発行年は西暦で表記する。
- ⑤ 外国語書名はイタリック体で、単語の頭文字（冠詞、前置詞を除く）は大文字で記載する。
- ⑥ 単行本中の一部を引用した場合は、初項・終頁を記載する。
 - ・雑誌の場合
著者名：論文タイトル。雑誌名、巻数（号）：初項・終頁、発行年。
著者名と論文標題は、原文のとおり記載する。
雑誌名は、日本語雑誌の場合には各雑誌で決められた略称を、外国語雑誌の場合には Index Medicus に示された略称をそれぞれイタリック体で用いる。
 - ・単行本の場合
著者名：書名。出版社名、発行地名、初項・終頁、

発行年.

著者名：論文タイトル. 編者名：書名. 出版社名, 発行地名, 初項-終頁, 発行年.

日本語の単行本で、編者のある場合には編者名の後に (編) : を記載する. 外国語の単行本で編者のある場合には編者名の前に In : を, 編者名の後に (Ed または Eds) : を記載する.

・オンライン版で、DOI のない場合

著者名：論文タイトル. 掲載誌名, 巻数 (号), 初項-終頁, URL.

・オンライン版で、DOI のある場合

著者名：論文タイトル. 掲載誌名, 巻数 (号), 初項-終頁, doi:DOI 番号.

・Web ページなどで、逐次的な変更が前提となっているコンテンツを引用する場合

出版データのあとに括弧を付記し検索日を記載する.

(5) 図・表 (グラフ, 写真を含む)

- ① サイズは、A4 判に収まるものとする.
- ② 図の図題 (タイトル) は図の下部、表の表題 (タイトル) は表の頭部に記載する.
- ③ 図・表にはそれぞれ通し番号を付ける.
- ④ 各図・表の挿入希望箇所を「本文」の右側欄外に朱書する.
- ⑤ タイトルおよび図・表の中の文字は、原則として、日本語を用いる. 英語で構成することが適当な場合はこれを認める. 同一論文内では日本語または英語のいずれかに統一して全ての図・表を作成する.
- ⑥ 線 (直線, 曲線など), 文字, 数字, 記号などは縮小印刷した場合でも判断可能な大ききとする.
- ⑦ 表における記号や略語, 統計分析結果等の説明は、表の下部に脚注の形で記載する.

⑧ 患者の写真を用いる場合は、個人が特定できないようにトリミングまたはマスクを工夫する. 患者を特定できるような写真が必須の場合は、原則として承諾書のコピーを添付する.

(6) 図の説明文 (必要時)

- ① 図の内容が容易に理解できるように、日本語で簡潔明確に記載する.
- ② 図の中のシンボル, 矢印, 略語等について説明する.

8 雑誌や単行本に発表された資料を転載する場合には、著作権所有者の使用許可書のコピーを添付する.

9 日本語および外国語の表記は、原則として、下記に準じる.

(1) 常用漢字, 現代かな遣いを用いる.

(2) 医学用語

日本医学会医学用語管理委員会編「医学用語辞典 Japan Medical Terminology」(南山堂 1994 年) および各学会編集の用語集に準じる.

(3) 外国語

① 日本語化している用語は、原則として、日本語 (カタカナ) を用いる.

② 人名, 地名などは、原語で記載する. 固有名詞, ドイツ語名詞の頭文字は大文字とする.

③ 原語表記を必要とする一般語彙は、小文字を用いる (ただし、文頭の単語は頭文字を大文字とする).

(4) 薬品名は一般名を用いる. 商品名が必要であれば、一般名の後に (……®) と併記する [マイレン酸チモロール (チモプトール®)].

(5) 数字

算用数字を用い